

# 非暴力直接行動

83, 5. 25

第133号

133

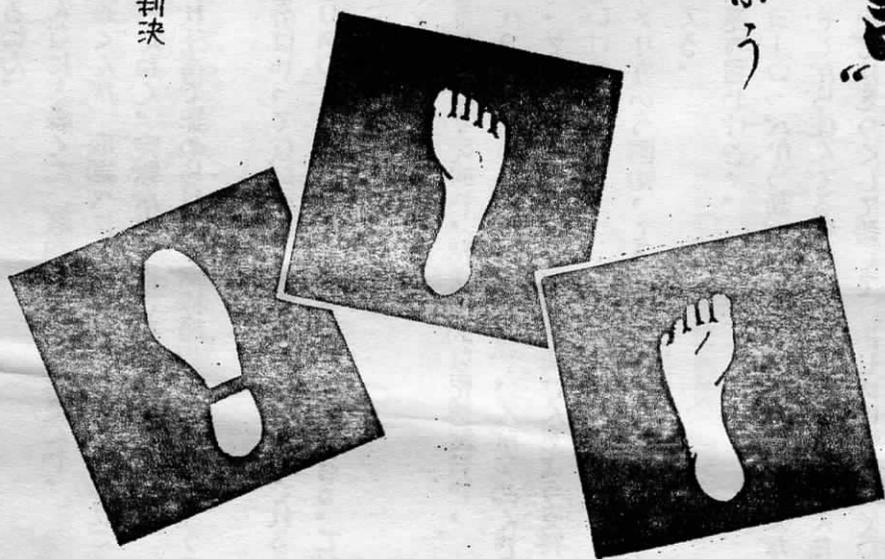
戦争拮抗者インター日本部(WRI-JAPAN) 大阪市あべの区九町2-12-2 発行ウリ大阪・水97-5

F M F M F M F M F M F M F M F M

ふうさん、ふうさん。  
 あっ、みよちゃん。久しぶり！  
 さがしてたんやで、環才の台本つくらなあかんのにー  
 ちよっと旅行してたんや。  
 へー、どこ行ってきたんな。  
 それがな、アイヌモシリ。  
 アイヌモシリ？ ふーん。外国へ行ってきたんか。  
 外国、うんまあ、ちよっとフクザツに気分持ちやけど..  
 せんで、飛行キ？ 船？  
 なにいうてんの。せら汽車やんか。  
 エー、汽車。そんな外国どこにあるんや。  
 あんな、その外国いうんは、別名では北海道..  
 なあんな北海道、あ、それでアイヌモシリ..  
 そうや。3月29日、サッポロ地裁でひらかれた大森くんの判決  
 公判を傍聴にいってきてん  
 うちも、新聞でみたで、死刑やてな？。  
 あのな、あんなのうちに消火器あるか？。

## 4.29 天皇がなんが気になる日 上演 台本「環才」 非国民宣言

出演  
 みよ & ふう



war resisters' international - Japan

M エッ、やぶからぼうになんやねん。

F そうか、やっぱり、消火器がない。ないというのは、あの時バウダンの容器に使ったからにちがいない。消火器がないのが、すなわち犯人やという証拠である。

M そんなアホな。ムキヤウキヤのいいがかりや。うちやってへん。やっマへんでエー。……

F と、そのリウツが通るのが、こんどの大森判決やねん。

M それで死刑。うそみたい。

F 犯行声明にかかれていた米印は、「大森が書いたものではない」という断定を、この鑑定人も出さなかった。よって大森が書いたと推論できる。」

M ちよ、ちよと待ってえや。なんやて……（くりかえす）……

まるで漫才の台本やんか

F 漫才や、たら笑ってられるけど

M うち信じられへんわ

F 疑わしきは被告人の利益に、ごころか、何が何でも、大森くんを犯人にしようというコンタンなんや。

M でも裁判長、気がトガメへんのかいな。無実の人を死刑にして。

F ところがや、きいて之や、生島裁判長は、「死刑」の判決を云いわたした、そのすぐあとで、となりの奴と類を覓合せて、ニカッと笑ったんやて。

M よっ、ぼじ大森くんを憎んでたんやな。

F 裁判長が大森くんを「被告人」「被告人してなんぐんも呼んでたけど、それがーもおはじめから、ごおしても「非国民」「非国民

で、キこえるねん。

M なんで、そんなに大森くん、裁判長に憎まれたんや。

F カ一に、大森くんが、取調べにもタコ黙秘しておしたことが、気にいらんねん。完黙がカ一にさわ、たんや。

M だって、それ法律で認められてる黙秘権やんか。何ちゅうこつちや。

F カ二に、自分はやってないけど、北海道庁がバク破されるのは、それなりのワケちゅうもんがある。僕は支持する。と法廷で云うたことや。

M やってなくて、云うただけで死刑。

F そうや。云うただけで死刑や。超法律的な思想裁判や。

M それやけど、バク破支持いうの、うち反対や。人が死ぬんやろ。痛いんやろ。そこでは、ちよと私、大森さんをよう支持せんわ。わるいけどー

F あんた、アメリカいっつう国知、てるやろ。あの自由の国やうて、大きな類してる。

M 今はだいが落ち目やけど。

F ありやあ、ヨーロッパから新大陸発見とかゆうて、白人がやうてきて、もとから住んでる先住民のインディアンの人たを、残虐のかけりをつくして殺して、おしのけて、つくった国やんか。

M コソルジャー、ブルー、ゆう映画みただけど、うちはききしそいうやうだ。見てられへんかった。おなじ人間がすること、は信じられへんわ。

F それと、全く同じことを、北海道のアイヌに対してやったのだから、わたしが日本人やねんで。

M エエー

F アイヌにとつて北海道は、ゆうたら、インディアンにとつてマのワシントン・ホワイトハウスマいたいなもんや。むかしの朝鮮総とく府みたいなもんや。

M そうか、日本人は、アイヌの人たちからバクダン投げられても、しょうがないようなことしてるわけやなあ。

F 判るやろ。

M 投げられるのはかなわんけど、気持はわかるわ。

F 何でも申いてみな判らん。行ってみなわからん思ったわ。

F うち北海道へ行ってみて、はじめて大森くんの云うてることの意味がわかったんや。

M それどういふこと

F 北海道開拓史というのは、日本人がアイヌをどれだけ殺したかという歴史やったんや。

F そのことに、日本人自身おとしまえをつけなあかん。というのが大森くんの云うてることやねん。

M 道庁バク破はしてへんけど、大森くん自身の責任のとり方としては、バク破支持という立場以外には、ないというわけやな。

F 権力にしたら、そういう考えが一番イヤで困ることや。絶対許せんいうことや。

F その上、それがアイヌモシリのまん中のサツポロで、アイヌにとつてはシヤモの日本人が云うてるんやから。

M アイヌの反逆に同調する非国民いうわけやな。

F そうや、大森くんは「反日亡国」を主張して非国民になろうというてるねん

M その非国民いうことやけど、うちも最近「非国民」といわれてるねんで

F エエー。あんたが。一体何やらかしたん。

M ほら三月の確定申告で軍事費拒否をしたやろ。

F ああ、なんや。自衛隊に使われてる軍事費分の税金払ひません、いうやつやな。

M 新聞に載った「非国民」いうて、電話かかってくるねん。

F 憲法9条知らんのか、いうてごなったりんか。

M 非国民テッコー。そやけど名前もよあ名のらん。あんたは卑怯民や、いうたつてん。

F ヒキョオミンナー？ それシヤレかいな。

M ほんまに腹たつわ。

F しかし、軍事費拒否は憲法にも保証

されてる。いわば憲法闘争やないの。

M あんな、うちやあ、別に憲法で

保証されてるからいうて、軍事に

拒否やるとのはちがうんやで。

F 戦争に反村やからやろ。

M そうや。いうたら思想信条の問題

F スゴイ。大森くんと同じやんか。





M 9条があるとなかろうと。軍事費は拒否すんねん。あんた、ソ連やったら、それで死刑になるんやでー

F ホンマに。そうかア。ではり。ばな非国民やな。

M 私はですね。だいたいあの憲法、氣にいらんねん。なんやのん。あのオ一条ー

F オ一条って？

M 天皇が日本の象徴やゆうて、書いてあるやないの。一体何の象徴やねん。

F そうか、戦争でアジア人民五千万を殺し、侵略・略奪・強盗・強姦・サキ・強盗・ペテンをやらしたその大親分を、象徴いうてタテマソツテるんやからなア。

M そんな天皇が、うちらの上にいるーそうこと

FM おことわりや (ハッハッ)

F アイヌの人にとっても、天皇は、まさに人殺しの代名詞やで。

M そんな、天皇の誕生日を祝う日本なんて

FM (ハッハッ) おことわりや

F そんなこというたら、又、今夜でんわがかかってくるで。

M もう、かめへん。覚悟したわ。

うち、まっとうな生き方がしたいねん。

F そうか、非国民になる以外に、今の世の中、まっとうに生きよう道はない。

M もう、フタツキにならんとアカン。

F おごい。うちもガンバって、あんたみたい

に非国民とよばれるようになる。

M もう、カクゴして、自分から非国民になっていくねんな。

F けど、ごないしたら非国民になるんやろ

M うちらは少数派や。権力が右むけ右、いうて、みんなが右むけいこつたら、こっちは左むくんや。

F そうか。大森くんや東アジア反日武装戦線の人は、あす、ての方むいては、たんや。

M すすんでるー。

F ミヨちゃん……

M なんやねん改って。

F 非国民になるには、まず自分で非国民を名のらんとアカン。

今日の天皇たん生日を記念して、ここで、非国民宣言しようやなソの。

FM 宣言。わたしは、非国民になります。今日から正真正銘の非国民です。

M そのためにはどうする……

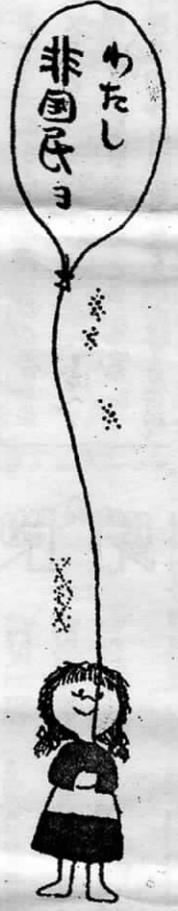
F そのためには…… 1 …… エート… エート… 2 にいこか

M あんた、そんな大きなこと云わんでもええねんで、身のまわりの小っちゃなこと、なんでも自分で出来そうごと、二つうてみいな。

F よっしゃ、ホナ、3 や

M ニイとばして、サンにいくんかいな。瓜のアカほどのことであえんや。深刻に考えんと軽いかんかい。

F. なにも出てけえん。ムズカシイナア。  
 MF 非国民になるのも、並大ていぢない。  
 M 一体どうしたら非国民になれるのか  
 FM みなさん、いっしょに考えてください。



# おぼろげな未来

▼ 4.29 集会。定刻々分前、エレベーターを案内して会場太田寺につくと、下駄箱に入りきれなくなった履物が、もうを閉いつぱい、軒先きまではみだしているという壮観。まあ50人、ひよつとして20人との予想が、なんと20人もの超過満員でした。

▼ 台本では、とても笑いなご願わぬいのではーと思えた漫才(とある得意)みよちゆんの台の手アドリブがぼんぼくとび出して、それに心をふるうさんのあわてたところのりりりのおかしさ。ひょうきんに、みんな大爆笑。こんなラジカルな内容を、こんな風な日常感覚でしゃべることができると、ホントにスゴイ。ひよつとしたら日本一の名コント!?

▼ 集会・1時5分時のテープ録音と、キ

笑い声が上がっている。ハラハラ大集会はそれに比べると、ずつとすくなかった。「フリートーク」がともうまじつたのは、会場の初めからうちとけたりわらかい雰囲気とこの笑い声のせい。

▼ 集会はあとに何をのこしたか。9/5ハラハラ大集会では、集会当日より心と準備期間の二カ月の過程のみで、新しい未知の人達との出会い、共同作業と対話、親睦があり、「支援者ニュース」を媒介にしてうごく人的なつながりを、全く新しいものとし、ささやかながらつくり出した。それが二ジの会の人脈の土台としてのこった。

4.29の集会準備は、34人を中心に、全員で10人ほどの人たちが、ほとんとすべてを要請した。その人たちの一生懸命な働きが、

20人の参加者があった。当日の20人のうち記名した22人。そしてアンケートをのいた人たちの名刺住所が手許にのこっている。(このときは名刺をとらなかつた)この名刺にびびりかけて、これからどんな新しい人脈をつくり出すことができるか、それが「何きのこすこ」となるか」の課題だ。

▼ 4.21 不払い通市員講座。Mくんの話がつよく印象的のこった。それに触発されて、だからMくんの話そのままに、このごろ、ふと気付くと、あたり一面、何もかも腐敗して、まるつきり腐敗(とりか)こまれ、日に日にこの腐敗攻勢のみで自分分はくらしめる。反腐敗をい出したのはじめごろ、腐敗は数層や差込(と)に達して、心やと思つた。次に核攻撃軍がしよつ中大砲を通りよるし、能取町には燃料工場や実験

▼5月31日附6本歌寺一ニジの金

炉がある。被爆した石佐さんの新故もある  
 として原爆に因連した産業・企業がいつば  
 いあって、そこではたくさんの方が働いて  
 いる。一しかしまあ、自分も直接に關係  
 してへんと思つてたところがあつた。あ  
 たりを見廻したら、テレビのニュース提供  
 は関西電力で、ニュースのEびに、原爆カ  
 とか原爆とか、コマーシャルが何かわから  
 んんちが流れよるし、家中は電氣が從横に  
 走つて、スイッチやソケットに至るところ、  
 電氣と石佐がつくつた品物、たべものまで  
 わあ一つとあしよせてくる。まさにあらゆる  
 もんが原爆攻撃か。自分をとりまいてる  
 原爆生活。  
 として反原爆は



牛のうちがー乃阿伊あど集ホー變てふの

▼5月29日附6つゆくさるる上市原爆を

てものは、ごときをみまわしても爪のアカほ  
 ども見当らへん。  
 そんななかで反原爆をどう運動としてひろ  
 げるか。もうみんなに古われ古したことをや  
 け、結局自分だけできることで、その範圍の  
 ぎりぎり一杯やるしかない、ということが改  
 めてつくづく判つた。  
 四方八方原爆だらけの中で、自分の手にす  
 ぐふれる一アツこれ原爆や、と思つた一つ二つ  
 に対して、まずそれをどう拒否するかにす  
 るが、と判つた。  
 へ誤解をさけるためちうと、「自分は反原爆  
 からクーラーはつけん。新幹線にのらん」と  
 いふへをみるとガンバツテハルアアとおも  
 う。自分もやらな、と思つた。けどもしそれが  
 「反原爆を言う以上、絶対あんたも」という  
 ことにならんやつたら、問題の本末をてん割  
 してると思ふ。それは反原爆を言うかへは聞  
 けぬ個人への「生きかくらしむ」信條」として  
 せうびんで他人におしつける内題やない。  
 いま、まわり一面から「原爆」が自分の生  
 活を攻めてきよる。そこからこそ何でもかんで  
 もやれる限り「反原爆」なんやないか」  
 ▼この講義和歌山國會議堂で開かれた

告の響を哲せく人が来てくれた。「今更身  
 近かなこととしての原爆を考をなかつた」と  
 の感想。すこしふとつて、とても元氣さう。  
 ▼4月21日、関西空陸現四番務所南所  
 泉州住民連絡会代表が抗議文をもつて折衝中  
 入口で坐つて待つていた住民に、あそひか  
 かつてなぐるけるの暴行の上、6名を不当に  
 逮捕(三日後全員釈放) ついで23日、4カ  
 所にガサ入れ。5月10日にカ所。さらには  
 日には山田原事務局長起と、が次さんの南  
 深寺、あわせての件。とくに南原寺のガサは  
 ひどく道路封鎖までして倉庫を並、議した  
 イヤガラセられた。それで終りと思つたら  
 こんどは山田原さんの令状逮捕(三日後釈  
 放・検事の逮捕告知下)という事態がつ  
 いてる。イヤといふとキ、いつでも駆け  
 つけるよく助っ人あつて、以上、い  
 いよタスキをかけガアなるまい... (ま)

**反戦** 大阪府東区の田村町2-1-2  
 反公害 日本橋  
 反差別 カンパ 一冊1000円  
 一冊1000円

振替口座 大阪二二三七三三三 ウリジヤン